

努力事項解説 その6 (特別活動 小学校クラブ活動)

教師の適切な指導の下で児童が具体的な活動計画を立てるなど、
異年齢集団の中で自発的、自治的な活動が活発に
展開されるような指導を行いましょう。

クラブ活動の目標を踏まえて、教師の適切な指導の下、自発的、自治的な活動が活発に行われるようにしましょう。

クラブ活動の目標

クラブ活動を通して、望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員として協力してよりよいクラブづくりに参画しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

クラブ活動は、教師の適切な指導の下に、共通の興味・関心を追求する児童による自発的、自治的な活動です。ですから、クラブ活動を楽しむ活動計画を作成することや、児童が話し合い、クラブとしての意見をまとめ、集団決定したことについて協力して実践できるようにする活動を重視するとともに、その活動が活発に展開できるようにしていくことが大切です。

そのために、以下のことに配慮しましょう。

- 1 教師の指導体制を確立し、担当するクラブの児童に積極的にかかわりましょう。
 - クラブ活動に参加するのは、主として4学年以上の児童ですが、指導に当たってはすべての教師がかかわるようにしましょう。
 - 教師の立案した基本的な枠組みを基に、具体的な年間の活動計画の立案を児童に任せてみましょう。
- 2 楽しいクラブづくりに児童が進んで参画できるように組織的な指導に努めましょう。
 - どうすれば楽しいクラブ活動になるか、児童に創意工夫させましょう。
 - 役割を分担させ、協力して行うように指導しましょう。
- 3 異年齢集団のよさを生かし、高学年の児童に下学年の思いや願いを理解させ、互いに尊敬できる関係を築くよう指導しましょう。
 - 高学年の児童が低学年の児童の思いを受容的に受け止めるよう指導しましょう。
 - 低学年の児童が高学年の児童にあこがれを持つような役割分担に配慮しましょう。
- 4 自発的、自治的な活動であっても、活動内容が常にクラブ活動の目標を達成するのにふさわしいものになるよう指導するとともに、児童の負担過重にならないよう配慮しましょう。
- 5 児童の手で実践できない内容など、自治的な活動として任すことのできない条件を明確にして児童に伝えておくことが大切です。
 - 例) ・ 個人情報やプライバシーに関すること
 - ・ 相手を傷つけるような結果が予想されるもの
 - ・ 教育課程の変更に關すること
 - ・ 校内の決まりや施設・設備の変更に關すること
 - ・ 金銭の徴収に關すること
 - ・ 健康・安全に關すること



次回は、学校行事「自校の実態に即した内容を重点化するとともに、行事間の関連や統合を図るなどして精選し、児童生徒による自主的、実践的な活動が助長されるようにしましょう。」について考えてみます。

10月11日（金）頃アップの予定です。